

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 29 年 5 月 19 日

理事長 松山 良一

訪日外客数(2017 年 4 月推計値)

◇ 4 月 : 前年同月比 23.9%増の 257 万 9 千人
単月で初めて 250 万人を突破!

- 2017 年 4 月の訪日外客数は、前年同月比 23.9%増の 257 万 9 千人。2016 年 4 月の 208 万 2 千人を 49 万人以上上回り、単月として過去最高となった（これまでの過去最高は 2016 年 7 月の 229 万 6 千人）。

- 航空座席供給量の増加などを受けた韓国市場の伸びが訪日旅行者数全体を牽引。また、昨年 3 月末から今年は 4 月となったイースター休暇の他、清明節やソンクラン（タイ正月）、学校休暇など各市場の休暇や祝日が訪日需要の増加に貢献した。さらに、桜をはじめ日本の春の魅力が浸透してきていることも、訪日意欲の喚起に繋がった。

継続的な訪日旅行プロモーションの効果や、航空路線の拡大、クルーズ船寄港数の増加も、引き続き訪日旅行者数の増加を後押ししている。

- 市場別では、13 市場（台湾、香港、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ、ロシア）が単月として過去最高を記録。他 7 市場（韓国、中国、シンガポール、マレーシア、豪州、イタリア、スペイン）が 4 月として過去最高となった。

- * 月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客数の動向」内からダウンロードできます。

http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html

「月別推計値 (Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数 (2003 年~2017 年) (PDF・Excel)」

- * 最新の市場動向トピックス

http://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/report.html

- ※ 4 月のトピックスは 5 月末頃に掲載予定

お問い合わせ先：
インバウンド戦略部 調査・コンサルティンググループ
TEL : 03-6691-3891

平成29年 訪日外客数・出国日本人数

2017 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization (JNTO)

平成29年5月19日
19/May/2017

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成28年 2016	平成29年 2017	伸率 Change %	平成28年 2016	平成29年 2017	伸率 Change %
1 Jan.	1,851,895 (1,579,364)	2,295,668 (2,006,775)	24.0 (27.1)	1,276,297	1,295,059	1.5
2 Feb.	1,891,375 (1,670,948)	2,035,771 (1,791,122)	7.6 (7.2)	1,330,972	1,493,399	12.2
3 Mar.	2,009,549 (1,726,360)	*2,205,700	*9.8	1,550,637	1,745,405	12.6
4 Apr.	2,081,697 (1,825,694)	*2,578,900	*23.9	1,249,586	*1,260,000	*0.8
5 May	1,893,574 (1,640,187)			1,233,170		
6 Jun.	1,985,722 (1,773,111)			1,271,146		
7 Jul.	2,296,451 (2,069,994)			1,435,758		
8 Aug.	2,048,587 (1,801,734)			1,818,332		
9 Sep.	1,918,246 (1,631,531)			1,552,705		
10 Oct.	2,135,905 (1,848,154)			1,462,741		
11 Nov.	1,875,404 (1,617,057)			1,479,599		
12 Dec.	2,050,648 (1,864,895)			1,455,477		
1~4 Jan.-Apr.	7,834,516 (6,802,366)	*9,116,000	*16.4	5,407,492	*5,793,900	*7.1
1~12 Jan.-Dec.	24,039,053 (21,049,029)			17,116,420		

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、そのほかの値は暫定値である。

◆注3：訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆注5：()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO [source: Ministry of Justice], and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2017年4月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Apr.2017 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2016年 4月	2017年 4月	伸率(%)	2016年 1月～4月	2017年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,081,697	2,578,900	23.9	7,834,516	9,116,000	16.4
韓国	South Korea	353,660	554,600	56.8	1,733,451	2,268,200	30.8
中国	China	514,867	528,800	2.7	1,986,940	2,177,500	9.6
台湾	Taiwan	384,164	413,300	7.6	1,382,498	1,446,900	4.7
香港	Hong Kong	127,246	209,400	64.6	565,048	700,000	23.9
タイ	Thailand	130,992	138,600	5.8	353,114	390,400	10.6
シンガポール	Singapore	30,576	35,400	15.8	98,980	107,300	8.4
マレーシア	Malaysia	38,038	43,200	13.6	126,020	148,100	17.5
インドネシア	Indonesia	31,169	45,200	45.0	83,634	121,700	45.5
フィリピン	Philippines	41,949	62,000	47.8	116,830	149,100	27.6
ベトナム	Vietnam	34,134	38,900	14.0	89,736	113,100	26.0
インド	India	11,583	14,500	25.2	38,162	43,300	13.5
豪州	Australia	39,646	56,200	41.8	173,342	198,000	14.2
米国	U.S.A.	114,151	141,100	23.6	373,883	433,800	16.0
カナダ	Canada	23,079	34,300	48.6	84,874	105,100	23.8
英国	United Kingdom	28,499	37,200	30.5	100,918	108,500	7.5
フランス	France	33,978	37,400	10.1	82,679	89,300	8.0
ドイツ	Germany	18,047	23,400	29.7	60,098	67,800	12.8
イタリア	Italy	12,018	16,000	33.1	33,228	38,000	14.4
ロシア	Russia	5,421	9,000	66.0	17,814	24,200	35.8
スペイン	Spain	6,422	11,200	74.4	21,168	24,700	16.7
その他	Others	102,058	129,200	26.6	312,099	361,000	15.7

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2016年の数値は暫定値、2017年の数値は推計値である。

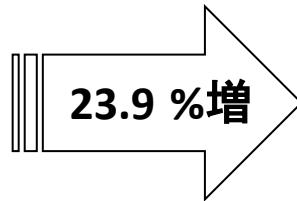
◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

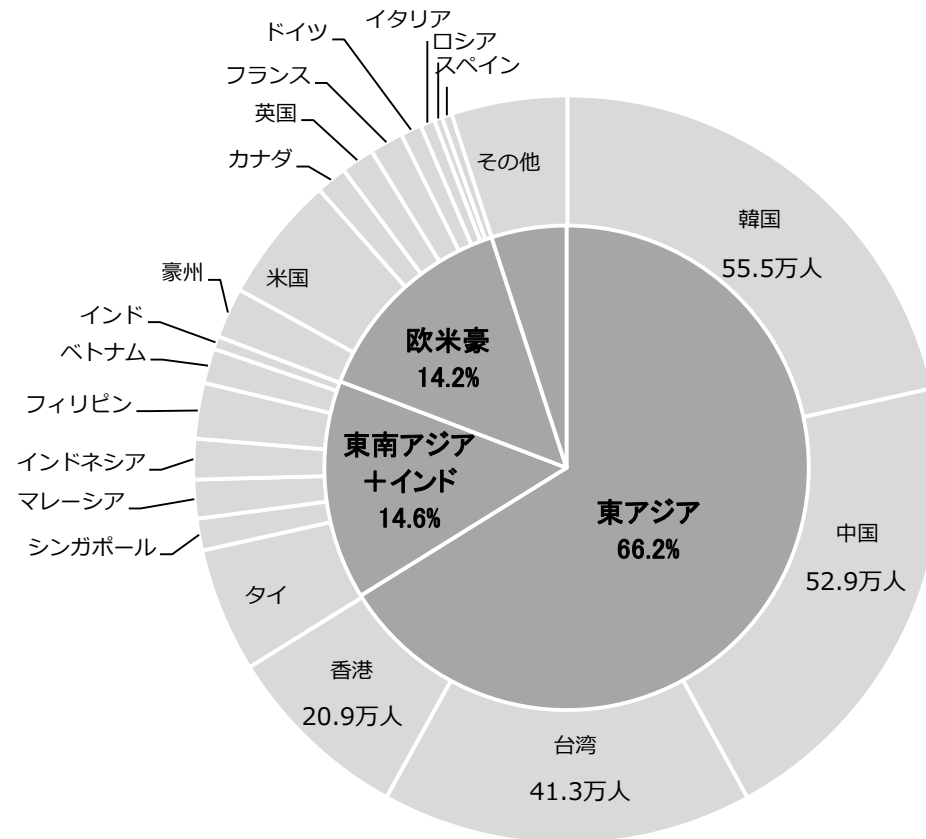
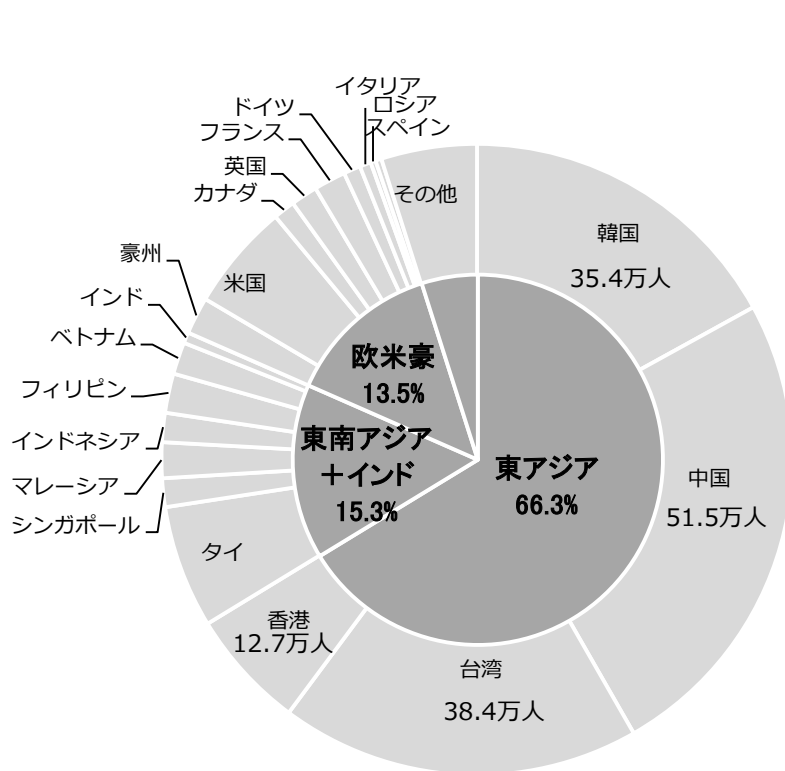
◆Note 2. Above figures for 2017 stand for the preliminary ones estimated by JNTO.

訪日外客数のシェアの比較 2016年/2017年

2016年4月
208万2千人



2017年4月
257万9千人



地域別訪日旅行市場の概況

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、前年同月比 56.8%増の 554,600 人で、4 月として過去最高を記録。韓国のアウトバウンド自体が増加傾向にある中、日韓路線の増便や機材大型化、チャーター便運航による座席供給量増加が訪日者数を押し上げた。さらに、前年 4 月 14 日に発生した熊本地震を受けた訪日敬遠の反動もあり、50%を超える伸び率となった。
- **中国**は、前年同月比 2.7%増の 528,800 人で、4 月として過去最高を記録。クルーズによる訪日が訪日需要を下支えしているものの、航空座席供給量は微増に留まっており、訪日者数全体としては一桁台の伸び率となった。そのような中、旅行博へ出展や商談会の実施など、精力的な訪日旅行プロモーションにより訪日意欲の喚起を図った。
- **台湾**は、前年同月比 7.6%増の 413,300 人で、単月として過去最高を記録。東北地方を中心とした桜鑑賞や立山黒部アルペンルートに人気があり、これらを目的とするツアーの造成・販売やチャーター便の運航などにより訪日需要が押し上げられた。一方、定期航空路線は、前年の復興（トランスアジア）航空の解散やVエアの撤退などを受け、引き続き座席供給量が前年を下回っており、訪日者数を抑制する一因となった。
- **香港**は、前年同月比 64.6%増の 209,400 人で、単月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動した影響が大きく、好調な推移となった。さらに、航空座席供給量が増加したことなども受け、60%を超える伸び率となった。

② 東南アジア

- **タイ**は、前年同月比 5.8%増の 138,600 人で、単月として過去最高を記録。訪日旅行のピークシーズンであるソクラン（タイ正月）前後に向けて、旅行博への出展をはじめとした訪日旅行プロモーションや、航空路線の新規就航やチャーター便の運航などにより訪日需要が押し上げられ、堅調な推移となった。
- **シンガポール**は、前年同月比 15.8%増の 35,400 人で、4 月として過去最高を記録。3 月～4 月の桜シーズンに向けて、現地のオンライン・トラベル・エージェント（OTA）や航空会社と連携して実施したオンラインプロモーションが奏功し、堅調な推移となった。
- **マレーシア**は、前年同月比 13.6%増の 43,200 人で、4 月として過去最高を記録。今年も桜や立山黒部アルペンルートに人気があり、多くのツアーが造成・販売され、訪日需要を後押しした。継続的なメディア支援や事業者向けセミナーなどの成果もあり、特に、桜鑑賞を旅程に含む旅行商品については、地方都市に滞在するツアーが増えるなど、内容の多様化・深度化が進んでいる。
- **インドネシア**は、前年同月比 45.0%増の 45,200 人で、単月として過去最高を記録。訪日旅行プロモーションの一環で販売したのも含め、旅行博などで各社が販売した安価な航空券の売れ行きが好調で、40%増を超える好調な推移となった。また、本年は日並びが良く 4 月中に 3 連休が 3 回あったことも、訪日需要の押し上げに寄与した。
- **フィリピン**は、前年同月比 47.8%増の 62,000 人で、単月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動した影響などもあり、40%増を超える好調な

推移となった。また、共同広告や旅行博への出展、インフルエンサーの招請など、春の魅力を訴求する様々な訪日旅行プロモーションを実施したことも訪日需要の押し上げに貢献したと考えられる。

- ベトナムは、前年同月比 14.0%増の 38,900 人で、単月として過去最高を記録。桜鑑賞を目的とした訪日需要の高まりなどにより、訪日旅行のピークシーズンに合わせたツアー造成・販売やインセンティブツアーが好調であった。また、春季を対象に販促キャンペーンを実施したことも、訪日需要の押し上げに寄与したと考えられる。
- インドは、前年同月比 25.2%増の 14,500 人で、単月として過去最高を記録。日本の桜の魅力が浸透しつつある中、さらに外国旅行のピークシーズンとなる学校休暇が一部地域で開始したことや、この時期に向けた訪日旅行プロモーションが訪日意欲を喚起し、好調に推移した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、前年同月比 41.8%増の 56,200 人で、4 月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動した影響を大きく受け、40%増を超える好調な推移となった。例年同様、桜を目的としたツアーの人気も高く、訪日需要の押し上げに寄与した。
- 米国は、前年同月比 23.6%増の 141,100 人で、単月として過去最高を記録。米国のアウトバウンド全体が増加傾向にある中、前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動した影響や、桜を中心とした春の観光に関する記事・広告等の露出増加なども訪日意欲を喚起し、好調な推移となった。
- カナダは、前年同月比 48.6%増の 34,300 人で、単月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動したことが大きく影響し、40%増を超える好調な推移となった。現地メディアでの露出強化により旅行先としての日本の認知度が向上していることに加え、年初に実施した現地航空会社との共同プロモーションにおいて割引航空券が販売されたことも、訪日者数の押し上げに寄与したと考えられる。

3. 欧州

- 英国は、前年同月比 30.5%増の 37,200 人で、単月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動したことに加え、学校休暇も 4 月に重なった影響を大きく受け、30%増を超える好調な推移となった。また、廉価な航空券の販売も訪日意欲の喚起に繋がった。
- フランスは、前年同月比 10.1%増の 37,400 人で、単月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動したことが大きく影響し、堅調な推移となった。また、日系航空会社との共同広告や旅行博への出展などの訪日旅行プロモーションも訪日意欲の喚起に繋がった。
- ドイツは、前年同月比 29.7%増の 23,400 人で、単月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動した影響や大型クルーズでの訪日もあり、好調な推移となった。団体ツアーも好調だった他、現地メディアや旅行会社、航空会社との共同プロモーションを昨年から継続して実施していることも、訪日意欲の喚起に繋がったと考えられる。
- イタリアは、前年同月比 33.1%増の 16,000 人で、4 月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動した影響を大きく受け、30%増を超える好調な推移となった。また、航空ダイヤ改正に伴う増便により座席供給量が増加したことも、訪日需要の押し上げに貢献したと考えられる。

- ロシアは、前年同月比 66.0%増の 9,000 人で、単月として過去最高を記録。1 月より訪日ロシア人に対する査証発給要件が緩和されたことにより、訪日需要が大きく押し上げられ、60%増を超える好調な推移となった。また、S7 航空による 1 月からの航空運賃の値下げに加え、極東オーロラ航空の新規就航も訪日需要の増加に寄与した。
- スペインは、前年同月比 74.4%増の 11,200 人で、4 月として過去最高を記録。前年は 3 月末にあったイースター休暇が本年は 4 月に移動した影響を大きく受け、70%増を超える好調な推移となった。「欧州における訪日旅行ブランディング事業」の一環であるテレビ CM を通じた日本の観光 PR 映像の放映や、イベリア航空との共同プロモーションを集中的に実施したことも、訪日意欲の喚起に繋がったと考えられる。